イソシクロセラムに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての 意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 令和7年1月22日～令和7年2月20日

2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送

3. 提出状況 1通

4. 頂いた意見・情報及びそれに対する食品安全委員会の回答

頂いた意見・情報※	食品安全委員会の回答
<p>イソシクロセラム農薬における農薬評価書に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次8ページ「安全性に係る試験の概要」に新たな試験結果のうねミツバチの項目を入れることを強く希望。 ・目次8ページ ミツバチの項目には、追跡した結果を表記すること。神経系毒の為、長期にわたる影響を表記し、結果を記す。 ・目次8ページ全般について 日本の農業は高齢化・かつ人手不足が現状。今回新たに、トマト・りんご等に農薬登録申請がなされる(7ページ)のあるが、りんご農家は受粉を人力で行うことは時間的・体力的にも大変な労働となります。そのためミツバチを利用したりすることも多いのですが、ミツバチに影響があると収穫量にも影響している。さらに異常気象も重なっている。 また、ハチミツから高濃度の農薬が検出され問題になった。 ネオニコチノイド系農薬でも、ミツバチや脳が未完成な子供たちの発達に影響もあることも言われている。 ・海外より農薬基準が緩い点も、今後はほかの農薬においても見直しをお願いしたい。 	<p>食品安全委員会では、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に、食品を介した農薬の摂取による人の健康への影響について評価を行っています。</p> <p>蜜蜂への影響、基準値設定に関するご意見は、リスク管理に係るものと考えられることから、農林水産省、環境省及び消費者庁に情報提供いたします。</p>

※頂いたものをそのまま掲載しています。